

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策I-2-1
売れる農林水産品・加工品づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農業経営課長 瀬尾 光広 電話番号 0852-22-5392

事務事業の名称	農業技術センター試験研究費	
目的	(1) 対象	農業者
	(2) 意図	新品種の開発や新技術の開発により、生産者の農業生産性向上を支援する
事業概要	農業技術センターにおいて、農業の新技術開発、環境保全及び経営の合理化に必要な試験研究、調査、分析、種苗の保存配布などを行う。 (場所：出雲市芦渡町) 1 施設 本館棟、花振興棟、生物工学研究施設、付属舎 2 用地 施設用地 16.2ヘクタール うち試験ほ場 11.9ヘクタール (内訳：田4.2、畑2.9、樹園地等4.8)	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 終了した研究のうち目標が達成され普及ができる研究割合	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義 年次終了課題のうち、目標達成及び普及ができると判定された研究数	取組目標値						
		実績値	100.0	100.0	100.0			
		達成率	100.0	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	159,891	203,656
うち一般財源 (千円)	107,863	121,644

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・平成29年度終了課題は、島根県農林水産技術会議により、13課題のうち五つが「普及」、八つが「目標達成」の評価を受けた(普及：重点研究課題5 目標達成：重点研究課題3 課題解決型研究課題1 基礎的研究課題4)。
 ・重点研究プロジェクトの一つであるブドウのオリジナル品種開発においては、現地試作ほ場の募集を行ったところ、その品質が評価され約1.4haの申し込みに繋がった。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

□終了課題は、以下のとおり具体的成果があった。
 1 品種育成
 ①ブドウのオリジナル品種育成では、赤色で大粒、皮ごと食べられる「S3012」を作成し、H30.1に島根県オリジナルブドウとして品種登録出願した。
 普及拡大を図るため現地試験ほ場等を募集したが、生産者21名、約1.4haの申し込みに繋がった。
 2 成果の発表
 ①『水稻有機栽培技術指針』を作成・配布したことで、有機稲作に取り組もうとする生産者にとっては栽培技術の指針とすることができた。
 ②『野菜の有機栽培技術指針』を作成したことで、畑作物の有機栽培に取り組む生産者にとっては技術の指針とすることができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
- 試験研究に対する技術開発や品種育成等に関する要請や期待は高いが、スピード感のある農業者の課題解決等に繋がっていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 研究を支える施設(センター用水施設等)の老朽化が進んでいる。
 - 試験研究予算が少なく、研究課題を絞らざるを得ない。また、次期研究のシーズとなる予備研究を実施する時間、予算に余裕がない。
- ③原因を解消するための「課題」
- 老朽化の程度に応じた施設、設備等の状況確認を進め、改修のための優先順位を検討し活用可能な国事業等の検討を行う必要がある。
 - 研究資金についても、共同研究等外部資金の積極的な獲得を検討する必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・研究予算確保のため、新たな仕組みづくりを検討するとともに、現行の研究内容の見直しも同時に行う。
 ・予算獲得については、引き続き競争的資金などの外部資金を積極的に活用し、共同研究の取り組み強化を推進する